

【校長室より】

令和5年6月

「学校教育目標」夢や志の実現に向けて
－ふるさとを愛し、夢に向かって努力を続ける生徒の育成－

文責（校長）圓 田 雅 也

－校外学習が終了し、いよいよ夏季大会へ！－

6月9日、1年生は、わくわくオーケストラ、そして神戸での班別学習、2年生も大阪での班別自主学習に行ってきました。1・2年生ともにそれぞれの活動を終え、無事に学校に帰ってきました。この校外学習は、1年生は2年後、2年生は来年の修学旅行を成功させるための準備、練習となる大きな学年行事です。2年生は、ほぼ計画通り、予定時間の帰校となりましたが、1年生については高速道路での事故渋滞が影響し、帰校時間が大幅に遅れることとなりました。スクリレ（保護者連絡）で状況などを発信していましたが、保護者の方には、すでにお迎えで学校に到着され、長時間待つていただいたことや連絡がタイムリーに届いてなかったこともあり、ご心配やご迷惑をおかけ致しました。そのような中でしたが、コロナ渦で制限されてきた時期とは異なり、どちらの学年も内容的には計画通りの活動ができたと思っております。そして、この経験を通して、さらに成長できたのではないかと思っております。改めて、校外での活動や体験はとても重要なことだと感じました。

校外での活動と言えば、いよいよこれから揖龍夏季大会が始まります。今年は春季大会が無く、今大会が新年度に入り初めての公式戦となります。その分、普段の練習を見ているこの夏季大会に臨む強い意気込みを感じます。特に3年生は、今まで練習してきた成果の全てを懸けた大切な大会となります。敗退すれば引退となります。それだけに3年生の取り組む姿勢は真剣そのものです。先日（6/18）、他の競技に先立って、揖龍陸上競技大会が太子町総合グラウンドで開催され、本校は、男女総合準優勝、男子は優勝を飾ってくれました。幸先の良いスタートをきるできています。大会中（揖龍陸上）、本部席で競技を観戦していますと、観客席から保護者の方々の応援の声が聞こえてきました。このような観客席からの声援を久しぶりに聞いたように思いました。新型コロナウイルス感染症に限らず感染症対策は必要ですが、今大会から全ての競技において、観客や応援等についての制限は解除されていますので、各会場に行かれた際には子供たちに応援のエールを送っていただければと思っております。やはり、スポーツにおいては、保護者の方をはじめ、観客席等からの応援やエールが選手（子供たち）にとっての最高のパワーになるものだと思います。この夏の大会は、揖龍大会をスタートとして、西播、県、近畿、そして全国大会へとつながる大会ですので、少しでも上位の大会を目指して活躍してくれることを願っています。

さて、これから夏本番を迎え、とても暑くなる時期です。本年度もウォーターサーバーを2台設置（職員室前廊下）し、熱中症予防についても注意を呼びかけているところです。ご家庭でも子供たちの体調管理について、よろしくお願い致します。